

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名	逆井調整池周辺地区整備事業							予算事業名
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			02	01	07	0501	政策経費	根拠法令
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)							担当課係等
	①防災対策の充実							
6雨水の適正処理								
事業期間	継続 (年度～ 年度)							
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
調整池整備により、周辺地域の利便性が低下しないよう道路等を中心に整備を進める。				調整池の整備計画策定に伴い、当該地区の在り方について、検討の必要性が生じた。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
逆井調整池周辺地域の道路等の整備 ・H28年度 庁内関係部署による検討会議の実施 周辺整備に関する調査業務委託 ・H29年度 28年度の検討に基づく道路計画の設計・測量等業務				・市民 ・逆井調整池周辺地域				
				【事業をとりまく環境の変化】 当該地区は、友好都市の盟約を締結した小山市の接点地区であり、小山運動公園と近距離にあるなどの地理的観点から、小山市との連携施策も検討できるエリアとしての側面を有している。				
【平成31年度 事業内容】		【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】			

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,514	0			
歳入計(千円)		4,514	0			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	13委託料	4,514	0			
歳出計(千円)(A)		4,514	0			
伸び率(%)			皆減			
備考	総合計画80ページ 予算書39ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	関係部署による検討	回	目標	1.00	0.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	事業構想の策定（方針の決定）	完了	目標	1.00	0.00	0.00
			実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	周辺地区整備の検討を行い、具体的な整備の内容を決定することは、今後の総合計画の改訂にも影響を与えることから、必要であると考えます。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政でしか行えない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	構想の段階であるので、行政のみで検討を行い、事業を進めるという手段は妥当であると考えます。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	昨年度の段階で、道路構想の案が決定した段階で、事業担当課に移管するべきであった。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	逆井調整池周辺の住民に受益が限定的であるとも考えられるが、病院などの公益的施設を踏まえた道路整備が計画されているため、恩恵は周辺住民に限らないともいえる。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	29年度をもって当課で検討業務は終了し、事業担当課に移管予定である。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	複数の道路案の作成を経て、有力案の測量設計業務に移行する際、有力案が調整池と重複するために関係課との調整に時間を要した。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

今年度で終了となる事業であるが、整備案の検討に始まり具体的な道路網の策定までを行うことができた。今後実際に道路の築造がおこなわれる時期等については未定であるが、それは今回の事業とはまた別の問題となる。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

今年度で終了となるため、改善・改革の必要なし。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）

当該地区の可能性を考慮したうえで、検討を行ったが、市として優先的に行うべきは周辺道路の整備であることの結論が出た。道路計画については調整池計画の整合性を考慮しつつ進めたため、調整地と接する部分は高さに関する測量を当事業において実施した。平成30年度以降は道路築造担当課において、補助導入の可能性を模索しつつ、完成に向けた事業展開を行う。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。